㈱あまとう

～素材にこだわり、伝統ある手づくりの味を全国区に～

住　所　〒047-0032
小樽市稲穂２丁目16番18号
電　話　0134-22-3942
ＦＡＸ　0134-22-1158
ホームページ　http://otaru-amato.com/

あまとうは、古くから小樽の中心商店街（小樽都通り商店街）のアーケード内に本店を構える老舗洋菓子店です。昭和４年、現在地に食堂とぱんじゅうの店としてオープン。戦火をくぐり抜け、現在は１階が洋菓子専門の店舗、２階を喫茶店として営業しています。小樽の街に育まれ、歴史と文化の香りが漂う和洋折衷の絶妙な味わい、ほどよい甘味が広がる繊細な食感の洋菓子、チョコレート、アイスクリームなど、時を超え親子三代、四代に渡って老舗の味を提供しています。

中でも昭和35年に「クリームぜんざい」とともに発売され、ともに人気商品となった「マロンコロン」は、機械では再現できない味にこだわり、型抜きから包装までのほとんどが手作業で、地元シンガーソングライターの柿本七恵さん（小樽ふれあい観光大使）が曲にするなど、知名度を更に高めて、今では全国区の人気商品になっています。

現社長で三代目の柴田明さんは東京の大手出版社で女性週刊誌の副編集長として15年間第一線で活躍されていましたが、21年前病に倒れた父親に後押しされ、老舗の味を守り続けるため、伝統ある店を受け継ぐ一大決心をしたそうです。

かたくなに地元密着を貫いてきたあまとうが３年前に運河ターミナル店に出店、さらに全国の百貨店との取引を開始しました。柿本さんと「景気低迷に苦しむ街の現状を打破し、愛する街を一緒に盛り上げよう。」と全国各地の百貨店の催事で曲に乗せてマロンコロンの販売とともに、小樽をＰＲしたそうです。今や全国各地から出店要請を受けるようになり、受諾の選択に腐心しているようです。各地の物産展では品切れが相次ぎ、マロンコロンの売上は３倍以上、手作業が多いため従業員も２倍近くまで増員、地元の雇用にも貢献しています。20年後の創業100周年を見据え、進化しながらも存在感あるお店を目指し、「継続は力なり」を経営理念とする三代目は、かつての仕事で研ぎ澄まされた感性を大いに発揮しています。

昭和18年夏、戦時中の店先。当時の店名は「㊀甘党」でした。

小樽からスイート発信し、３年間で全国人気に広がった
３枚重ねのサブレ「マロンコロン」